

2011年(平成23年)7月30日
第3回土木と学校教育フォーラム

アメリカの地理・歴史教科書の検証と国土教育 ーオバマ大統領演説と「合衆国史」教育ー

森田 康夫(国土学アナリスト)

オバマ合衆国大統領・一般教書演説(2011年1月)

新たなビジネスを誘致するには高速道路や高速インターネット網によりヒトやモノの移動と情報の伝達を実現する最速かつ信頼性の高い手段を確立する必要がある。我々は改善に取り組まなくてはならない。米国はかつて大陸横断鉄道網を建設し、農村に電気を引き、各州をつなぐ高速道路網を建設した国だ。こうした仕事はレールや舗装道路を敷いただけではない。過去2年間、我々は21世紀の再建作業を始動した。これは衰退した建設業界に数千もの仕事を与える事業を意味する。今夜、私はこうした努力を倍増することを提案する。壊れかけた道路や橋を修復する仕事にさらに多くのひとをあてるようにする。(藤井聡氏訳)

オバマ合衆国大統領・就任演説(2009年1月)



新しい雇用を創造するだけでなく、成長の新しい基盤を築くために我々は行動する。我々は商業の糧となり、我々を結びつける道路や橋、送電網や通信網を造る。科学を本来あるべき地位に引き上げ、医療の質の向上とコストを抑えるために素晴らしい技術を駆使する。太陽、風、大地を使い自動車を動かし、工場を稼働させる。新しい世代の需要に合うように学校や大学を変革していく。これらはすべて実現可能だ。そして我々はこれらをすべてやる。(NIKKEI NET訳)

 インフラ投資に対する確固たる姿勢

オバマ合衆国大統領・就任演説(2009年1月)②

彼らは私たちのためにわずかな所持品をかばんにしまい、海洋を旅し、新しい生活を探してくれた。彼らは私たちのために工場で汗を流して働き、西部を開拓し、むち打ちに耐え、硬い大地を耕してくれた。彼らは私たちのためにコンコード、ゲティスバーグ、ノルマンディー、ケサンのようなところで戦い、命を落とした。これらの男女は私たちがよりよい暮らしを送れるよう何度も何度も苦闘し、犠牲を払い、手が腫れるまで働いてくれた。彼らの目に映る米国は、1人ひとりの大望の集積もさらに大きいものだった。生まれや富や党派の違いを超越した国だった。これが今日も我々が続けている旅だ。我々は依然として地球上で最も繁栄し、強い国家だ。

オバマ合衆国大統領・就任演説(2009年1月)③

アメリカよ。共通の危機に直面した今、この困難な冬に、我々はこの時を超えた言葉を思い出そうではないか。希望と美德によって、氷のように冷たい流れにもう一度勇敢に立ち向かい、いかなる嵐が訪れようとも耐えようではないか。子々孫々が今を振り返った時に、我々が試練の時に旅を終えることを拒否し、引き返すことも、たじろぐこともなかったということを語り継がせようではないか。地平線に視線を定め、神の慈悲を身に浴びて、我々は自由という偉大な贈り物を運び、将来の世代に安全に送り届けたということ。ありがとう。神の祝福がみなさまにあらんことを。そして、神の祝福がアメリカ合衆国にあらんことを。(NIKKEI NET訳)



過去と現在と未来をつなぐ壮大な物語

研究の背景とねらい(『国土と人』について学ぶ)

現在、われわれが享受している豊かで安全な生活は、われわれのご先祖様が農業基盤や交通基盤を整備し、川を治め、水資源を開発するなど、絶え間なく国土に働きかけることによって、国土から恵みを返してもらってきた歴史の賜物である。

従って、現代に生きるわれわれの世代も、国土に対して働きかけを続け、将来世代に対して、より良い社会基盤を引き継いでいかなければならない。そのためには、われわれ日本人の国土への働きかけの歴史について、また世界の国々の国土への働きかけの成果や現在の努力について、不断に学び続けることが求められている。

- 
- わが国の小中高等学校教育では、社会科(地理歴史科)の教育内容はどうなっているのか？【第2回土木と学校教育フォーラム資料】
 - 日本という国家を担っていくために必要な知識・教養を学ぶことは出来ているか？【第2回土木と学校教育フォーラム資料】
 - アメリカ合衆国の地理・歴史教育は？
(オバマ大統領演説と「合衆国史」教育から学ぶ)

米国の教育制度の概要①

■ 連邦政府の役割

- 教育に関する権限は各州政府にある(合衆国憲法修正第10条)
- 連邦政府は、望ましい政策やプログラムに対して州政府に補助金を交付
⇒「ナショナル・スタンダード」、「ナショナル・アセスメント」

■ 初等・中等教育(就学前教育を含む)

- K-12(KindergartenからGrade12まで)
- 義務教育は無償、5 (Elementary) - 3 (Middle) - 4 (High)年制の増加
- カリキュラム等教育行政は、各州政府あるいは学校区に委任
- 生徒の多様性
⇒ 白人、アフリカ系、ラテンアメリカ系、アジア系、アメリカ・インディアン
- ナショナル・アイデンティティに関する教育 プレッジ・オブ・アリジヤンス
⇒日常風景としての「国旗に対する忠誠の誓い(Pledge of Allegiance)」

『私はアメリカ合衆国の国旗と、その国旗が象徴する共和国、
神の下に一つとなって分かたれず、全ての人に自由と正義が約束された国
に忠誠を誓います』

米国の教育制度の概要②

■ 高等教育

- 医学、工学、法学などの職業専門教育を行う専門大学(学部)は、通常、総合大学又は単科大学において一般教育を受け、さらに試験・面接を受けないと進学できない。

■ 大学入試

- 日本的な入学選抜試験はなく、すべて書類審査で選考される。
⇒ 高校時代の成績や課外活動が非常に重要。
⇒ 高校時代に合衆国史・世界史・地理といった科目について、
しっかりとした教養を身につける必然性がある。

■ 社会科系教科のカリキュラム

- ナショナル・スタンダード(社会、地理、歴史、公民、経済、心理学 毎)
⇒ 各州の教育スタンダードへ反映、教育カリキュラムの実践

全米で人口が1～3番目に多い州の考察

- カリフォルニア州(人口約3,700万人:西海岸)
- テキサス州(人口約2,500万人:南部)
- ニューヨーク州(人口約2,000万人:東海岸)

カリフォルニア州の社会科スタンダード

	学年	主テーマ	学習内容・範囲(補足説明)
High School (S.H.S) 高等学校	Grade12	アメリカの民主主義と経済の諸原理	
	Grade11	合衆国の歴史と地理 －20世紀の連続と変化－ 	20世紀の合衆国史・地理
	Grade10	世界の歴史・文化・地理 －現在世界－	18世紀後半～現在までの世界史・地理(2つの世界大戦を含む)
	Grade9	(スタンダード上の掲載テーマなし)	※ミニコース(現代史、自然・世界地理、比較世界地理、地域研究、女性研究、民族研究、法教育、文化人類学、社会学、心理学)の選択学習が可能
Middle School (J.H.S) 中学校	Grade8	合衆国の歴史と地理 －成長と紛争－ 	1850年～第一次世界大戦までの合衆国史・地理
	Grade7	世界の歴史と地理 －中世と近代－	中世～近代(西暦500－1789年)までの世界史・地理
	Grade6	世界の歴史と地理 －古代文明－	古代ローマ帝国以前の世界史・地理
Elementary School 小学校	Grade5	合衆国の歴史と地理 －新しい国家をつくる－ 	1850年までの合衆国史・地理 アメリカ合衆国50州の場所と名前
	Grade4	カリフォルニア －変化する州－	カリフォルニア州の地理、歴史、産業、経済、文化、政治
	Grade3	継続と変化	自然地理・人文地理・地理スキル、アメリカインディアン居住区の変化、法の役割と米国政府の基本構造、地域経済 等
	Grade2	差異を作っている人々	現在と過去の区別、地理的スキル、合衆国と他国政府の相違、基本的な経済概念、偉人伝(リンカーン、ワシントンなど) 等
	Grade1	時間と空間における子供の場所	合衆国市民の権利と義務、地球儀・地図記号等、国旗に対する忠誠の誓い、身近な空間における過去と現在、自由市場経済と個人の選択 等
Kindergarten 幼稚園		今や昔を学習したり活動しよう	シティズンシップ、国家と州の象徴(国旗、白頭ワシ、自由の女神)、学校やコミュニティ、場所や環境、カレンダーと時間 等

テキサス州の社会科スタンダード

学校	学年	主テーマ	学習内容・範囲(補足説明)
High School (S.H.S) 高等学校	Grade12	合衆国の政治[必修]	
	Grade11	合衆国史研究[選択必修] (レコンストラクション以降)	※「Grade8; アメリカ合衆国の歴史」の後半。学習範囲は1850年以降。 ※[選択必修]3科目の内、2科目取得が卒業要件。
	Grade10	世界史研究[選択必修]	※[選択必修]3科目の内、2科目取得が卒業要件。
	Grade9	世界地理研究[選択必修]	※[選択必修]3科目の内、2科目取得が卒業要件。
Middle School (J.H.S) 中学校	Grade8	合衆国の歴史 (レコンストラクション以前)	※「Grade5; アメリカ合衆国の歴史」で学習した内容を深掘りする。学習範囲は～1850年まで (レコンストラクション以前)。
	Grade7	テキサス州の歴史	※「Grade4; テキサス州の歴史」で学習した内容を深掘りする。
	Grade6	世界の地理	
Elementary School 小学校	Grade5	合衆国の歴史	
	Grade4	テキサス州の歴史	
	Grade3	個人によるコミュニティ・世界の改変	偉人たちが苦労して成し得た地域社会の改変とその影響、個人による経済的・文化的・科学的な貢献の理解
	Grade2	地域社会に関する研究	カレンダー(時間と年表の概念)、政府の機能、アメリカの信念と原則(習慣・シンボル・祝日)、技術革新による輸送・コミュニケーションの変化 等
	Grade1	教室、学校、コミュニティの関係	時間と年表、合衆国とテキサスの聖歌・モットー、位置と場所、商品・サービス・価格、市民権、家族の習慣と伝統、情報の整理・分類 等
Kindergarten 幼稚園		個人、家、家族、教室	国民の祝日、英雄、年表、位置と場所、衣食住、ルール、ナショナル・アイデンティティ、家族の習慣と伝統 等

ニューヨーク州の社会科スタンダード

学校	学年	主テーマ	学習内容・範囲(補足説明)
High School (S.H.S) 高等学校	Grade12	1)政治参加 2)経済と経済的意思決定	
	Grade11	合衆国の歴史と政治 ★	
	Grade10	グローバル史・地理	
	Grade9		
Middle School (J.H.S) 中学校	Grade8	合衆国史・ニューヨーク州史 ★	※地理・経済・政治・社会／文化を含む
	Grade7		
Elementary School 小学校	Grade6	東半球	東半球の歴史・地理・経済・政治・社会／文化
	Grade5	合衆国、カナダ、ラテン・アメリカ ★	アメリカ合衆国、カナダ、ラテン・アメリカの歴史・地理・経済・政治・社会／文化
	Grade4	地方史と地方政治	ニューヨーク州の歴史と地方政治の機能・役割
	Grade3	世界中の地域 ー人々と場所に関する学習ー	文化と文明(歴史観)、世界中のコミュニティとその社会的・政治的・地理的・経済的・歴史的な特徴(相違点) 等
	Grade2	私の住む地域と合衆国の他の地域	コミュニティと地域、自然環境と人間、都市と田舎、資源、経済、国旗に対する忠誠の誓い、権利と責任、シティズンシップ、法律と規則 等
	Grade1	自分の家族と他の家族: 現在と大昔	家族とその歴史、コミュニティと地域、場所と地図、経済の基礎、国旗に対する忠誠の誓い、権利と責任、シティズンシップ、法律と規則 等
Kindergarten 幼稚園		自己と他者	自己と他者、家族、学校、近隣、場所と地図、シティズンシップ、権利と責任、法律と規則、国旗、国民の祝日 等

CA・TE・NY州の社会科スタンダードの特徴(まとめ)

- 幼稚園や小学校低学年(Grade 1)の段階から、
 - ① **ナショナル・アイデンティティを養う教育**
 - ② **時間と空間について比較して考える教育**が行われている。
- 「**歴史**」と「**地理**」は、小学校・中学校・高校を通して、**最重要科目**として取り扱われている。
- 「**歴史**」と「**地理**」の教育を一体的に取り扱うカリキュラム
(カリフォルニア州、ニューヨーク州)
- 小学校・中学校・高校で履修する範囲が重複しないよう
効率的に学ぶことのできるカリキュラム
(カリフォルニア州、テキサス州)

米国の教科書制度の概要

■ 教科書の作成・発行

- 民間の出版社が編集・発行する。
- 出版社は、自社発行の教科書が広く採用されることを目指して、できるだけ多くの州政府の定める教育スタンダードを反映させるよう努力。

■ 教科書の選定・採択

- 州政府が選定教科書のリストを作成し、そのリストに掲載された教科書のなかから、各学区が適当な教科書を採択。

■ 教科書の供給

- 公立の初等・中等学校の児童生徒全員に対して「無償」で教科書を提供すべきことを、大半の州が州法で定めている。
⇒学校が備品として教科書を保管し、児童生徒にこれを貸与する

■ 教科書の位置づけ

- 一般に、教師は教科書の使用を義務づけられていないが、教科書に対する依存度は比較的高い。
- 教科書 (textbooks) と教材 (teaching materials) との区分が不明確になりつつある。

米国と日本の社会科教科書の比較(Grade5)



米国の教科書の特徴は、

- **ハードカバーでサイズが「大きい」**
- **ページ数が多くて兎に角「重い」**
- **多色刷りの写真や図表などが活用され「ビジュアル」**



「百科事典」のような体裁

アメリカ人の学ぶ「合衆国史」の構造(Grade5教科書)

表面

事件・出来事の歴史／英雄・偉人の歴史

シティズンシップ(Citizenship)

政治、外交

多様性(Diversity)

宗教、文化

移住・移民(Migration)

経済、科学技術

第1章
「アメリカの国土」

地理・国土(Geography)

最終章・最終節
「シティズンシップと
民主主義」

深層

単元1

先住民とわが国土

500～

単元2

大航海と入植

1490～

単元3

イギリス植民地

1600～

単元4

独立革命

1765～

単元5

新生国家

1790～

単元6

南北戦争

1830～

単元7

国家の改変

1860～

単元8

20世紀

1910～

単元9

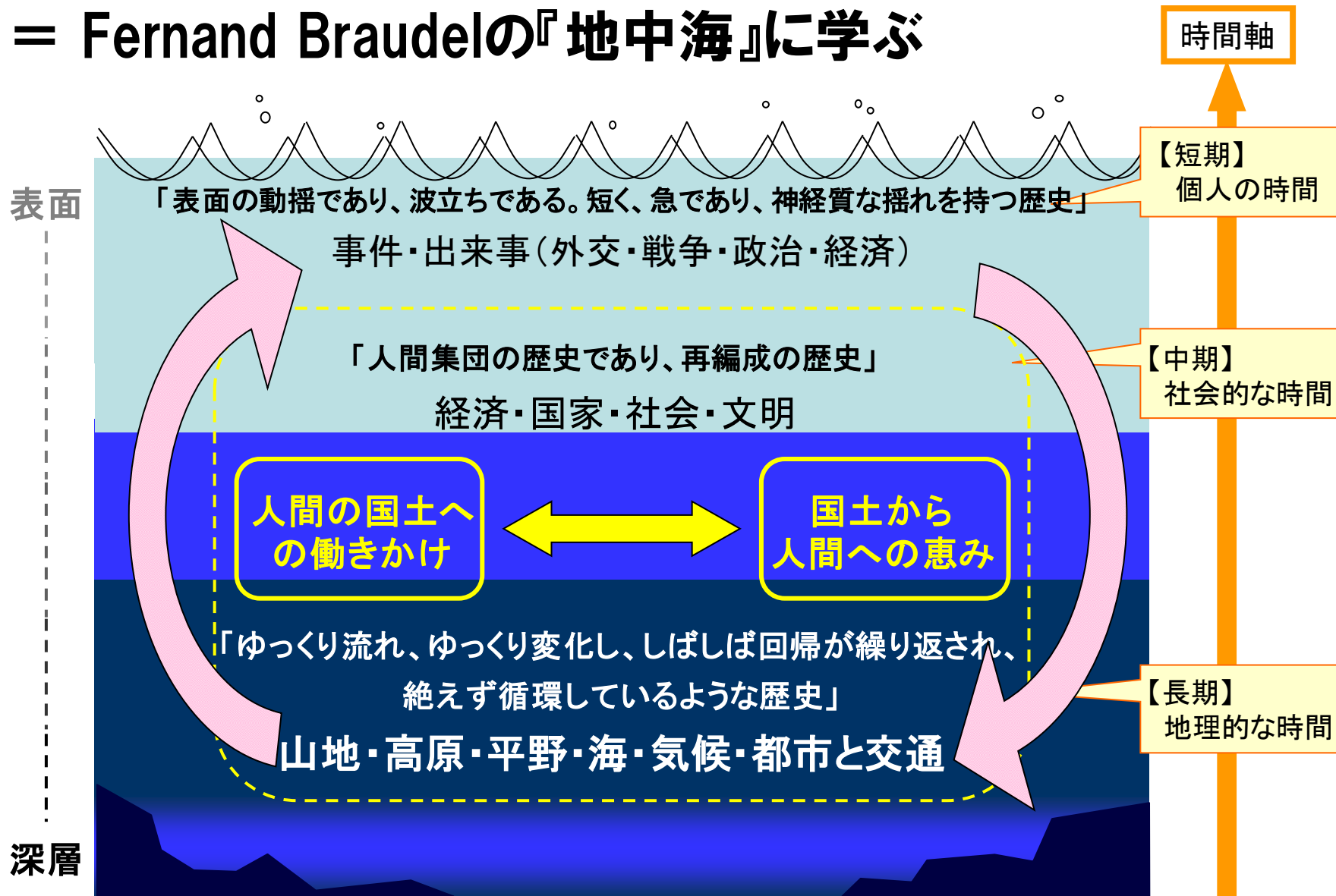
現在への接続

1970～

出典: Houghton Mifflin Harcourt, "SOCIAL STUDIES - UNITED STATES HISTORY" (2008年版)

歴史の深層としての「国土」

= Fernand Braudelの『地中海』に学ぶ



合衆国史の主要テーマ1:「地理・国土(Geography)」

- 「合衆国史」教科書の最初(第1章)の学習テーマ
⇒ 「アメリカの国土 (America's Land) 」
- つまり、歴史教科書の最優先学習課題として、
「地理・国土 (Geography) 」が位置づけ。



**歴史の深層には必ず地理や国土と
いうものがあって、その上で相互
に影響を与え・受けながら、国民
の歴史が展開されてきた。
という「合衆国史」教科書の構造**

第1章・Lesson1「国土と気候(Land and Climate)」

この教科書では、合衆国に暮らす国民のことを学びます。この教科書を読んでいくうちに、合衆国民にとって国土がいかに重要なものであったか、そして今も重要なものであるかがわかると思います。合衆国を理解するには、地理を習得しなければなりません。地理とは、世界とそこに住む人々や事象について学習することです。地理学者は、地球のことを、そして如何に地球が人類にとって住みよいものとなるかについて考えます。彼らは、場所とはどこで、どんな特徴があるのかということを問いかけます。また、**国土が人に如何に働きかけ、また人が国土に如何に働き返すかについても問いかけます**。彼らの回答は、われわれが過去、現在、そして未来をより理解するための手助けになるでしょう。

フーバーダムの効用と環境への影響

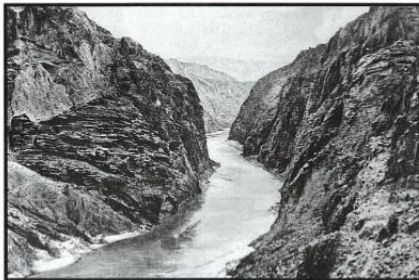
Extend Lesson 4 Geography

Reshaping the Land

Modern dams are some of the largest structures ever built, and they have a big effect on the land around them. Dams help control floods and offer a steady supply of water to cities and towns. Dams also create lakes and provide electricity.

Not all the changes are positive, though. Dams stop the natural flow of a river. A dam affects fish, plants, and animals by changing the sources of food in the river's ecosystem.

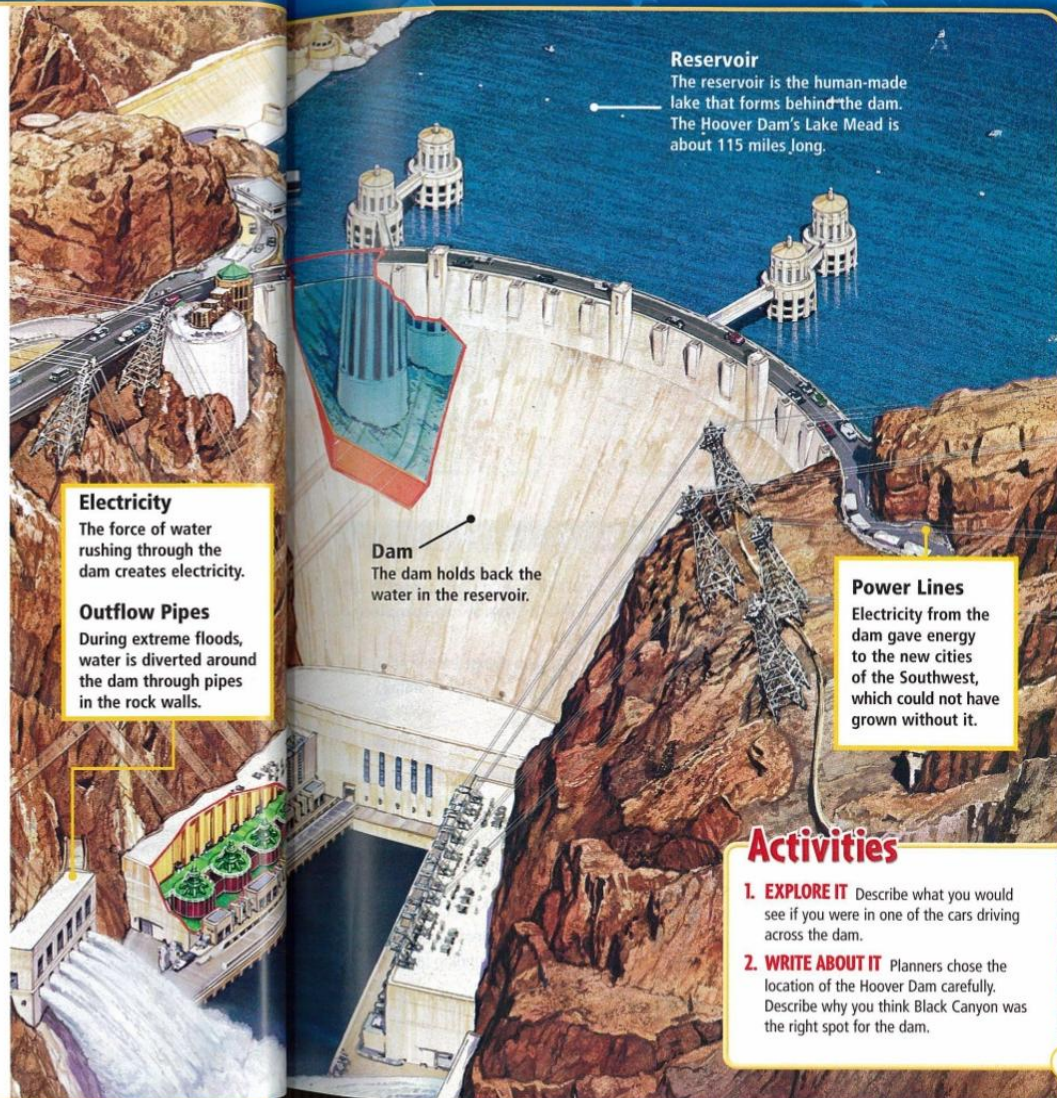
The Hoover Dam is one of the largest dams in the United States. It is located on the border between Nevada and Arizona and blocks the Colorado River.



Before the Dam

The Colorado River flowed freely through Black Canyon before the Hoover Dam was built.

32 • Chapter 1



Reservoir

The reservoir is the human-made lake that forms behind the dam. The Hoover Dam's Lake Mead is about 115 miles long.

Dam

The dam holds back the water in the reservoir.

Electricity

The force of water rushing through the dam creates electricity.

Outflow Pipes

During extreme floods, water is diverted around the dam through pipes in the rock walls.

Power Lines

Electricity from the dam gave energy to the new cities of the Southwest, which could not have grown without it.

Activities

1. **EXPLORE IT** Describe what you would see if you were in one of the cars driving across the dam.
2. **WRITE ABOUT IT** Planners chose the location of the Hoover Dam carefully. Describe why you think Black Canyon was the right spot for the dam.

33

アパラチア山脈が阻む西部移住

Extend Lesson 1

Geography

THE APPALACHIANS

The Appalachian Mountains aren't the tallest mountains in the world, but they are some of the oldest, and they show it. For over 400 million years, wind, rain, and snow have worn them down. In the north, Ice Age glaciers ground and scraped them. This endless erosion created the rounded mountains and hills people know today.

Though the Appalachian Mountains are not very high, they were hard to cross in early colonial times. Settlers who tried to use rivers were usually stopped by waterfalls, rushing waters, and deep gorges.

Another challenge to travelers was the Appalachians' forests. The forests were so hard to pass through that few settlers lived west of the **fall line** at the edge of the Appalachians.

The Appalachian Mountains stretch 1,600 miles. In most places, the Appalachians are nearly 100 miles wide.



Ridges and Valleys Some areas of the Appalachians are rugged and steep. A trail can be seen in this photograph, running along the ridge of the mountain.

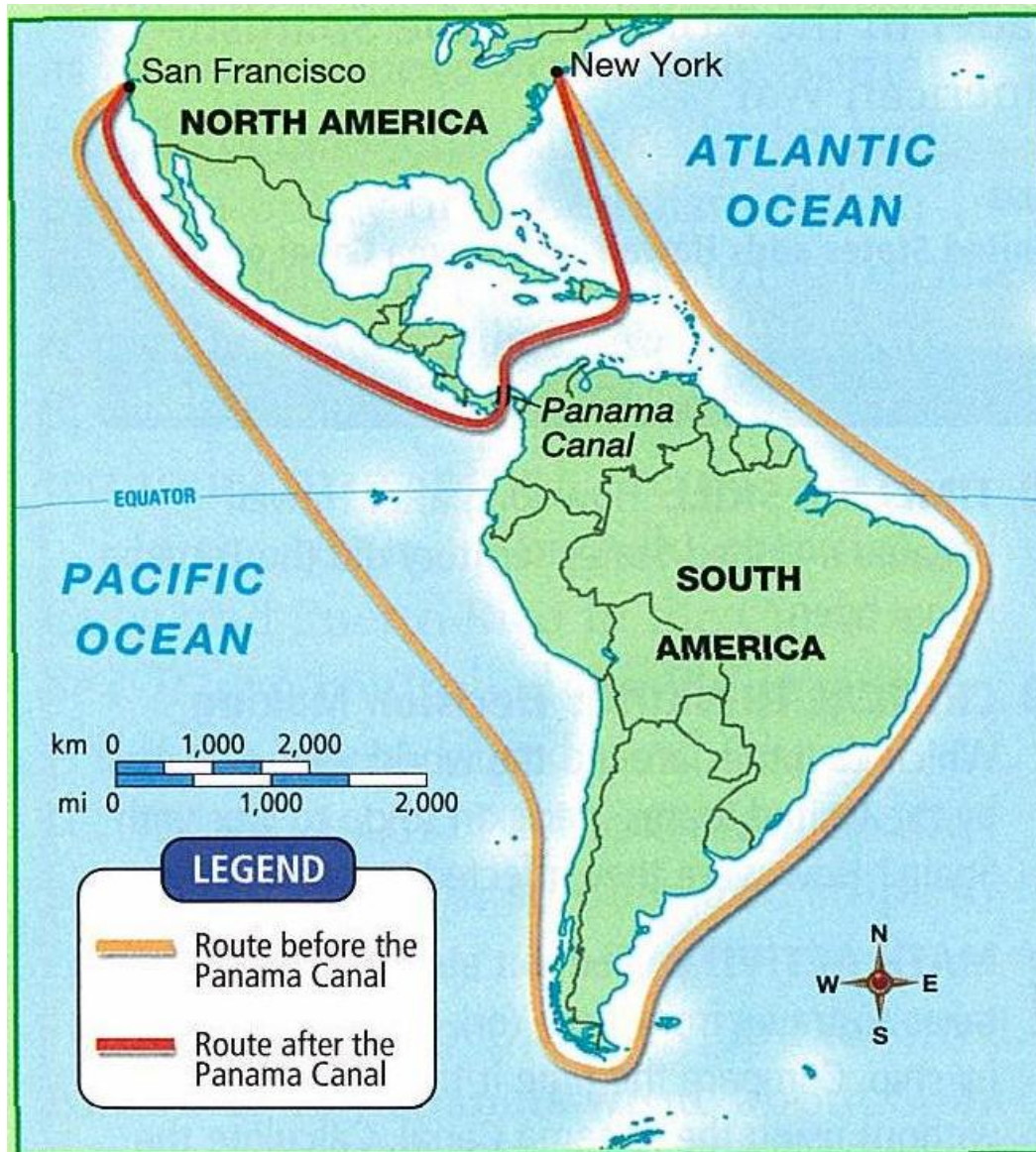
Activities

- TALK ABOUT IT** What challenges did people face crossing the Appalachians in the 1600s?
- CHART IT** Use an atlas to find the five highest mountains in the Appalachians. Make a chart giving the name, location, and altitude of each peak.

大陸横断鉄道の整備と移動時間の短縮



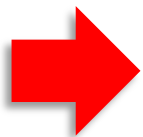
パナマ運河の開通と移動時間の短縮



パナマ運河の開通により、ニューヨーク～サンフランシスコ間の航路が13,000マイルから5,200マイル未満に短縮

合衆国史の主要テーマ2:「移住・移民(Migration)」

- 氷河期にベーリング地峡を渡って南北アメリカ大陸に移住してきた**古代インディアン**
- 入植・植民地時代(17～18世紀) ⇒ **イギリス系・フランス系・オランダ系移民とアフリカ系奴隷**
- 18世紀中頃から ⇒ **ドイツ系・アイルランド系**
- 1880年代から ⇒ **イタリア系・ユダヤ系・スラブ系**
- 第二次世界大戦後 ⇒ **アジア系・ラテンアメリカ系**



アメリカ合衆国はいずれの時代も世界中から多くの移民**(Immigration)を受け入れてきた**

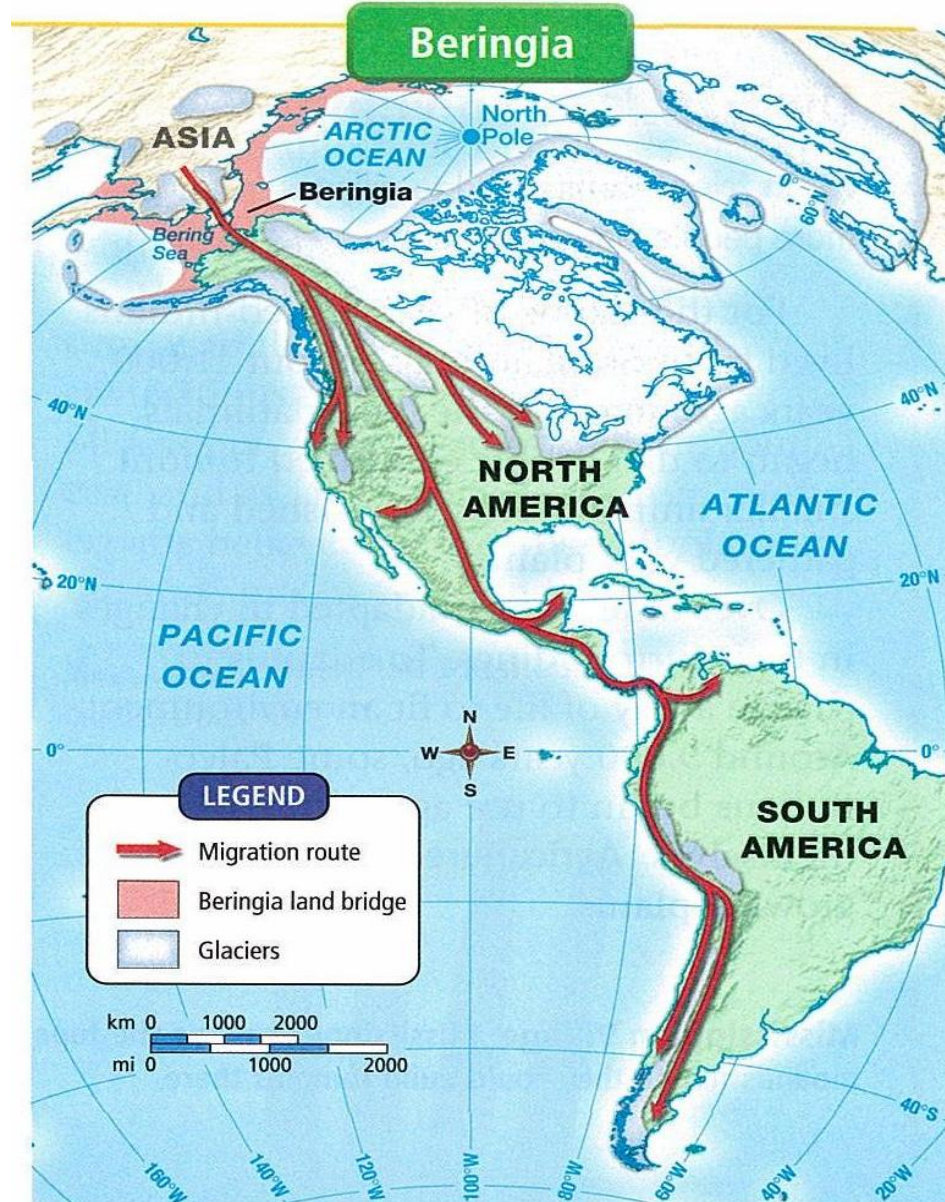
「移住・移民(Migration)」②

- 17世紀初めのイギリス植民地建設と同時に始まり、1890年の「フロンティアの消滅」をもって終わりを告げた**西部開拓の歴史**
- 1920年代の**アフリカ系アメリカ人の北部への大移住** ⇒ 「ハーレム・ルネッサンス」
- 1930年代の**ダストボウル・マイグレーション**(グレートプレーンズで断続的に発生した砂嵐に伴う農業崩壊・離農・移住)

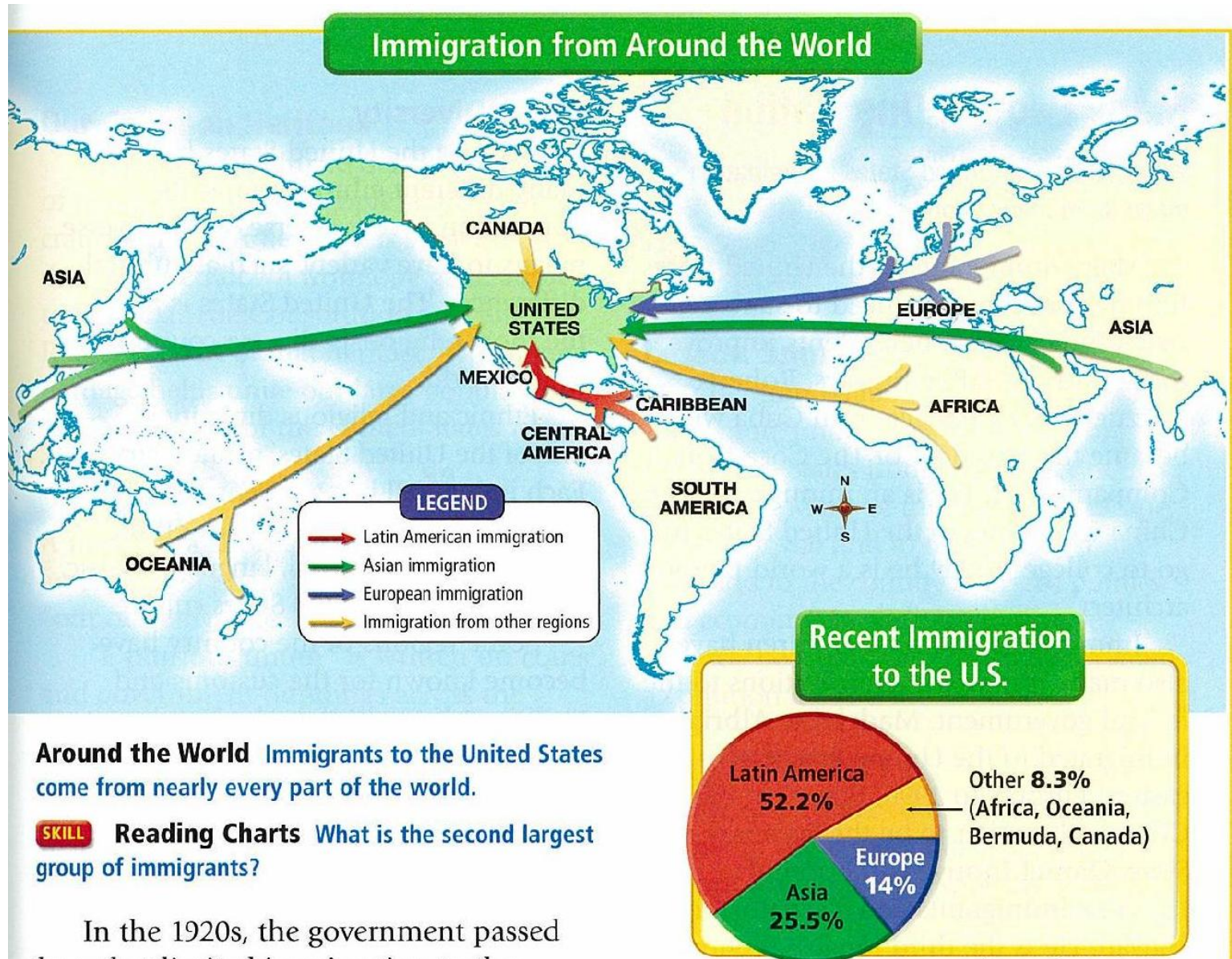


移民たちは、より良い生活を目指して、**西部へ、北部へと大陸を移住** (Migration) していった

氷河期にアメリカ大陸に移住してきた古代インディアン



世界中から移民を受け入れてきたアメリカ合衆国



合衆国史の主要テーマ3:「多様性(Diversity)」

➤ 世界有数の多民族国家

- ✓ ヨーロッパ系(ドイツ系、アイルランド系、イギリス系、イタリア系、フランス系)
- ✓ ヒスパニック系
- ✓ アフリカ系
- ✓ アジア系
- ✓ アメリカ・インディアン

➤ 多様な宗教を抱える国

- ✓ プロテスタント(バプテスト派教会、メソジスト派教会、ルター派教会ほか)
- ✓ ローマ・カトリック
- ✓ ユダヤ教
- ✓ イスラム教 ほか



**民族と宗教の多様性
(Diversity) は、合衆国の
最大の強みの一つである**

E pluribus unum (多数から一つへ)

- アメリカ合衆国の標語 (motto)
- 13文字からなるラテン語 (独立当時は13州)
- 英語 : Out of many, one



Motto on Money

American coins are a daily reminder of the motto "E pluribus unum."

人種・宗教・信条を超えて一つの国家として
まとまろう

「多様性(Diversity)」②

- これまでの合衆国史の主流は「ワスプ・男性」
(White Anglo-Saxon Protestant)



- 教科書(Grade5)全レッスンのうちの約6割で、
「マイノリティや女性たち」の活躍が記述
(アフリカ系、ラテン系、アジア系、インディアンなど)



マイノリティや女性たちの歴史的役割
を評価、合衆国史の主流に位置づけ

キング牧師「私には夢がある」

Extend Lesson 3



Biography

Dr. Martin Luther King Jr.

(1929–1968)

It is August 28th, 1963. Thousands of people have marched from the Washington Monument to the Lincoln Memorial. Folk singers have performed, and civil rights leaders have spoken to the crowd. Now Dr. Martin Luther King Jr. steps forward to the podium.

Dr. King has written part of the speech only hours ago. He has given other parts before. He looks out at the crowd. So many people have joined together in one place in the cause of equality and justice.

Throughout his life, Dr. King worked for civil rights for all Americans. He was dedicated to bringing about change through nonviolent protest. In Montgomery and Birmingham, he led boycotts and protests to desegregate buses and lunch counters.

As Dr. King begins to speak, the people cheer. Of the many speeches given on this day, this is the one that most will remember. People join hands as they listen to his message of freedom.

Major Achievements

1957

Travels thousands of miles and gives over 200 speeches

1963

Leads March on Washington and gives "I Have a Dream" speech

1963

Meets with President Kennedy about civil rights

1965

Leads march from Selma to Montgomery

1964

Wins Nobel Peace Prize

CHARACTER TRAIT: Fairness

"When we allow freedom to ring, when we let it ring from every village and every hamlet, from every state and every city, we will be able to speed up that day when all God's children, black men and white men, jews and Gentiles, Protestants and Catholics, will be able to join hands and sing in the words of the old Negro spiritual: 'Free at last! Free at last! Thank God Almighty, we are free at last!'"

— From the speech "I Have a Dream"

Activities

- 1. LIST IT** List the ways that Dr. King worked for fairness for all Americans.
- 2. WRITE ABOUT IT** Read King's speech at the back of this book. Choose a part of the speech and write about what it means to you.



Technology Read about other biographies at Education Place. www.eduplace.com/kids/tmes05/

BIOGRAPHY

631

合衆国史の主要テーマ4:「シティズンシップ(Citizenship)」

「合衆国史」教科書の最終レッスンの学習テーマ ⇒ 「シティズンシップ(Citizenship)」

Core Lesson 3

VOCABULARY
naturalization
register
responsibility
volunteer
Vocabulary Strategy
responsibility
Responsibility, meaning duty, is related to "respond." Citizens in a democracy must respond to their duties.

READING SKILL
Classify As you read, put information under these two category headings: Rights and Responsibilities.

Citizenship and Democracy
Build on What You Know You know that a car needs an engine to run. Democracy is the engine that keeps the United States running. The actions and choices of people in the United States give the nation and the government the power to move forward.
Citizenship
Main Idea Living in a democracy brings rights and duties.
Being a citizen of a democracy like the United States is special. In most countries throughout history, ordinary people have had no role in their government. This is true for some countries even today. In a democracy, all people have a role. The choices they make help shape the government and culture.
One thing that is special about democracy is that its citizens have many rights. Rights are freedoms protected by law. The United States government is supposed to guarantee and protect these rights.
People who come to the United States from other countries can become citizens and vote. They go through a legal process called naturalization. Naturalization is the process of becoming a citizen by learning the laws of the country and the rights and duties of citizens.

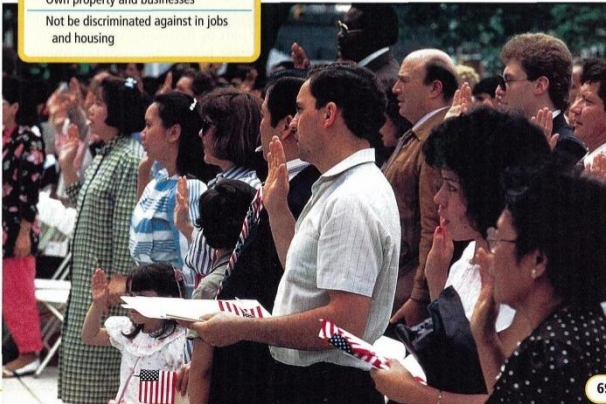
**Studying Citizenship** Immigrants going through naturalization study the laws and history of the United States using a book like this one.

Voting and Other Rights
Voting is one of the most important rights American citizens have. By voting, citizens help choose leaders and give direction to the government. At age 18, citizens can register to vote. To register means to sign up. Citizens also have the right to run for political office.
The Bill of Rights is made up of the first ten amendments to the Constitution. These amendments include the right to speak freely, the right to practice any religion, and the right to a fair trial in court.

Protecting Rights
The federal government protects other rights of citizens that are not listed in the Bill of Rights. These include economic rights, such as the right to own property and businesses. The government has also passed laws to protect people from discrimination in jobs and housing. For example, the Fair Housing Act says that property owners, bank officials, and others cannot discriminate against people who are buying or renting houses or apartments because of their race, religion, or other reasons.
REVIEW At what age can citizens register to vote?

Rights of Citizens
Vote
Join groups of your choice
Express opinions freely
Practice religion of choice
Have a fair trial
Own property and businesses
Not be discriminated against in jobs and housing

Naturalization Ceremony These immigrants are about to become United States citizens. When they do, they will enjoy all the rights listed in the chart to the left.



698 • Chapter 19

699

9・11の英雄たち

Extend Lesson 4

 Citizenship

9/11 HEROES

News of the attacks on September 11, 2001, shocked the nation. As thousands of New Yorkers fled the city, hundreds of police and firefighters rushed to the burning World Trade Center to help survivors. Search and rescue teams went to New York City from all over the country, along with emergency medical crews. For these professionals, responding to this act of **terrorism** was the hardest job in their careers.

Ordinary citizens wanted to help, too. Truckers and work crews came to remove the tons of rubble from the collapsed buildings. Volunteers donated blankets, food, and other goods for people affected by the tragedy. Many people raised money for the effort. Together, people worked to comfort their fellow citizens and help them recover from the terrible blow.



Kids Step Forward

Students collected money to help the victims of the attacks. At a Saffilo, Mississippi, elementary school, students raised \$971.00 in one day.



Run for Funds

This Michigan firefighter went to Washington, D.C., to take part in a fundraising race. The race was dedicated to the victims of the attacks.



On the Scene
Three firefighters raise the United States flag at the World Trade Center shortly after the 9/11 attacks.

©2001 The Boston Herald/Graphic Arts, Inc. www.graphicarts.com

Activities

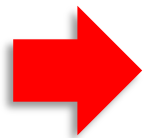
- 1. DRAW IT** Many people have ideas for a memorial for the victims of the September 11th attacks. Draw your idea for a memorial.
- 2. WRITE ABOUT IT** The students from Saffilo, Mississippi, deserved a thank you note for their hard work. Write a letter the mayor of New York City might have written to them.

「シティズンシップ(Citizenship)」②

- **民主主義国家の市民(Citizen)であることは、権利(Right)と責任(Responsibility)を併せ持つことを意味する。**
- **権利(Right)とは、法律によって担保された自由(Freedom)のことであり、権利章典(Bill of Rights)に書かれた宗教の自由、言論や報道の自由、平和的に集会し抗議する権利、公正な裁判を受ける権利を含む。**
- **責任(Responsibility)には、投票(Vote)、遵法(Obey laws)、納税(Pay taxes)、陪審(Serve on juries)が含まれる。**

「シティズンシップ(Citizenship)」③

- 投票権を持たない若者もボランティアを通して地域や国家に貢献することが必要である。
- また、これからしっかり学習することで、大人(18歳)になった時に良い投票が可能となり、結果、民主主義に貢献することも、合衆国をより良い国にすることもできるようになる。



戦後の小学校社会科教科書(柳田国男監修の小学6年生用教科書の最終頁)を思い出させる。

みんなが幸福になれるように

世の中のおおぜいの人の幸福や利益のためにもうけられていたものが、公共しせつです。社会には乳児院やたく児所や養老院などのほか、いろいろな公共しせつがあります。つぎの表は、そのおもなものです。

健康、安全	保健所、病院、水道、下水、警察署、消防署、火の見やぐら、公衆浴場など
交通、通信	鉄道、バス、駅、道路、橋、郵便局、ポスト、公衆電話、電柱、道路標識など
教育、レクリエーション	学校、公民館、図書館、博物館、美術館、動物園、植物園、遊園地、公園など

これらのなかには、知っているものがたくさんあるでしょう。それはどれとどれか、それが私たちの生活にどのように役だっているか、話しあってみましょう。むかしにくらべると、今はこういうしせつがずいぶんとのつています。しかし、まだこれでじゅうぶんだとはいえません。公共しせつがもっとりっぱになれば、それだけみんなが幸福になれるのです。

公共しせつについてだいじなことをきめるのは、国や地方の議会です。議会では公共しせつのほかにも、みんなを幸福にするための、いろいろなきそくやしくみをきめます。だから、国民の一人一人がものごとを正しく判断できる力を身につけて、りっぱな議員を選挙することがたいせつなのです。

社会の役にたつ人間になるためには、私たちがこれから勉強しなければならぬことがたくさんあります。

シティズンシップ・ハンドブック

➤「国旗への忠誠の誓い」

- ✓ 6カ国語（英語、スペイン語、ロシア語、タガログ語、アラビア語、中国語）で紹介

➤「個性の特徴(Character Traits)」

- ✓「勇気(Courage)」
- ✓「責任(Responsibility)」
- ✓「公正(Fairness)」
- ✓「思いやり(Caring)」
- ✓「愛国心(Patriotism)」
- ✓「尊敬(Respect)」
- ✓「公德(Civic virtue)」

国旗に対する忠誠の誓い

Pledge of Allegiance

Pledge of Allegiance

*I pledge allegiance to the flag
of the United States of America
and to the Republic for which it stands,
one Nation under God, indivisible,
with liberty and justice for all.*

R2 • Citizenship Handbook

Spanish

Prometo lealtad a la bandera
de los Estados Unidos de América,
y a la república que representa,
una nación bajo Dios, indivisible,
con libertad y justicia para todos.

Russian

Я даю клятву верности флагу
Соединённых Штатов Америки
и стране, символом которой
он является, народу, единому
перед Богом, свободному
и равноправному.

Tagalog

Ako ay nanunumpa ng katapatan
sa bandila ng Estados Unidos
ng Amerika, at sa Republikang
kanyang kinakatawan, isang
Bansang pumapailalim sa isang
Maykapal hindi nahahati, may
kalayaan at katarungan para
sa lahat.

Arabic

أدين بالولاء لعلم الولايات المتحدة الأمريكية وإلى
الجمهورية التي تمثلها دولة واحدة تؤمن بالثقة
متحدة تمنح الحرية والعدالة للجميع

Chinese

忠 誠 誓 言

我 和 下 享 發 國 之 有 誓 旗 一 直 忠 所 國 由 誠 衆 興 于 任 不 正 美 的 司 義 利 共 分 堅 和 劑 合 國 國 上 有 國 帝 皇 旗 屬 生

R3

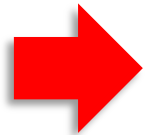
高校の「合衆国史」教科書における『歴史的主題』

- (1) **多様性とナショナル・アイデンティティ**
(DIVERSITY AND THE NATIONAL IDENTITY)
- (2) **世界情勢とアメリカ** (AMERICA IN WORLD AFFAIRS)
- (3) **経済的機会** (ECONOMIC OPPORTUNITY)
- (4) **科学・技術** (SCIENCE AND TECHNOLOGY)
- (5) **女性と政権** (WOMEN AND POLITICAL POWER)
- (6) **移民と移住** (IMMIGRATION AND MIGRATION)
- (7) **州の権利** (STATES' RIGHTS)
- (8) **投票権** (VOTING RIGHTS)
- (9) **公民権** (CIVIL RIGHTS)

高校の「合衆国史」教科書における『地理的主題』

地理の5大テーマ

- (1) 位置 (LOCATION)
- (2) 場所 (PLACE)
- (3) 地域 (REGION)
- (4) 移動 (MOVEMENT)
- (5) 人間と環境の相互依存関係
(HUMAN-ENVIRONMENT INTERACTION)



この国では『**国家の歴史は、国民 (people) や出来事 (events) と同じように、地理 (geography) によって形作られる**』という明確な理念がある

米国の歴史教育のまとめ①

- **地理や歴史は受験のための暗記科目ではなく、合衆国市民としての教養を習得するための科目として位置づけられている。とりわけ、大学入試システムの違いが、日米の地理・歴史教育の圧倒的な差異となって現れている。（米国の大学入試では、高校時代の成績や課外活動が最重要）**
- **地理教育と歴史教育を二項対立的な構図に持ち込まず、歴史と地理を一体化したカリキュラムを構築している。（カリフォルニア州やニューヨーク州）**
- **「合衆国史」という歴史科目であっても、「地理・国土」が最重要テーマ。⇒ 歴史の深層には必ず地理や国土というものがあって、その上で相互に影響を与え・受けながら、国民の歴史が展開されてきた、という構造になっている。**

米国の歴史教育のまとめ②

- 「合衆国史」における主要テーマは、
 - 地理・国土 (Geography)
 - 移住・移民 (Migration)
 - 多様性 (Diversity)
 - シティズンシップ (Citizenship)

- 「合衆国史」は、単なる事件・出来事や英雄・偉人の歴史にとどまらず、全てのアメリカ国民の歴史として、自分の先祖や子孫の歴史として実感することができる内容となっている。

- 多民族的・多文化的・多宗教的な集団からなるアメリカ合衆国という国を一つの国家として統合していくため、“E pluribus unum (多数から一つへ)” というモットーや「国旗への忠誠の誓い」を含むシティズンシップ教育、ナショナル・アイデンティティ教育が極めて重要な役割を果たしている。

アメリカの宗教性「神の下なる一つの国家(国民)」

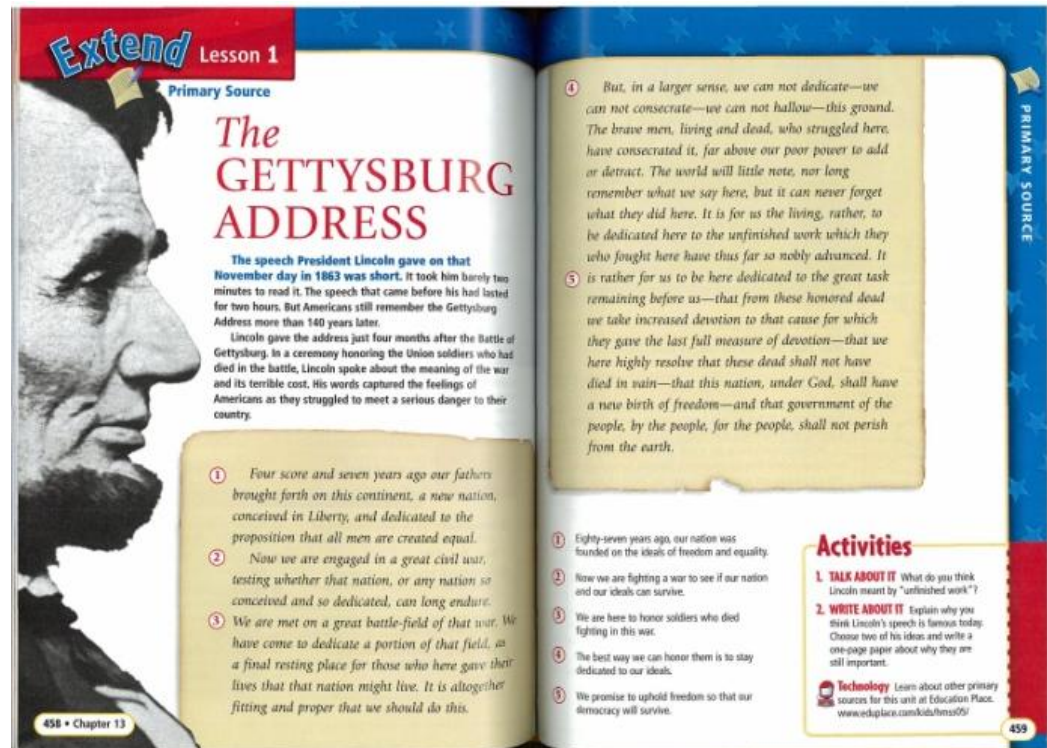
- オバマ大統領演説は、「合衆国史」の授業の延長。
- アメリカ合衆国は歴史上、最初に国教制度を憲法によって否定し、**信教の自由を保障した国**、いわゆる政教分離国家。
- ~~×~~ ~~宗教と政治の分離(Separation of Religion and Politics)~~
- 教会と国家の分離(Separation of Church and State)



政治を含む公的領域における宗教的次元は、入植・建国以来ずっと肯定的に扱われてきた。

「神の下なる一つの国家(国民)」の歴史

- メイフラワー誓約(1620年)に含まれる「**神の栄光のため(for the glory of God)**」という言葉。
- アメリカ独立宣言(1776年)に含まれる「**創造主によって(by their Creator)**」という言葉。
- ゲティスバーグ演説(1863年)に含まれる「**この国に神の下で(this nation, under God)**」という言葉。

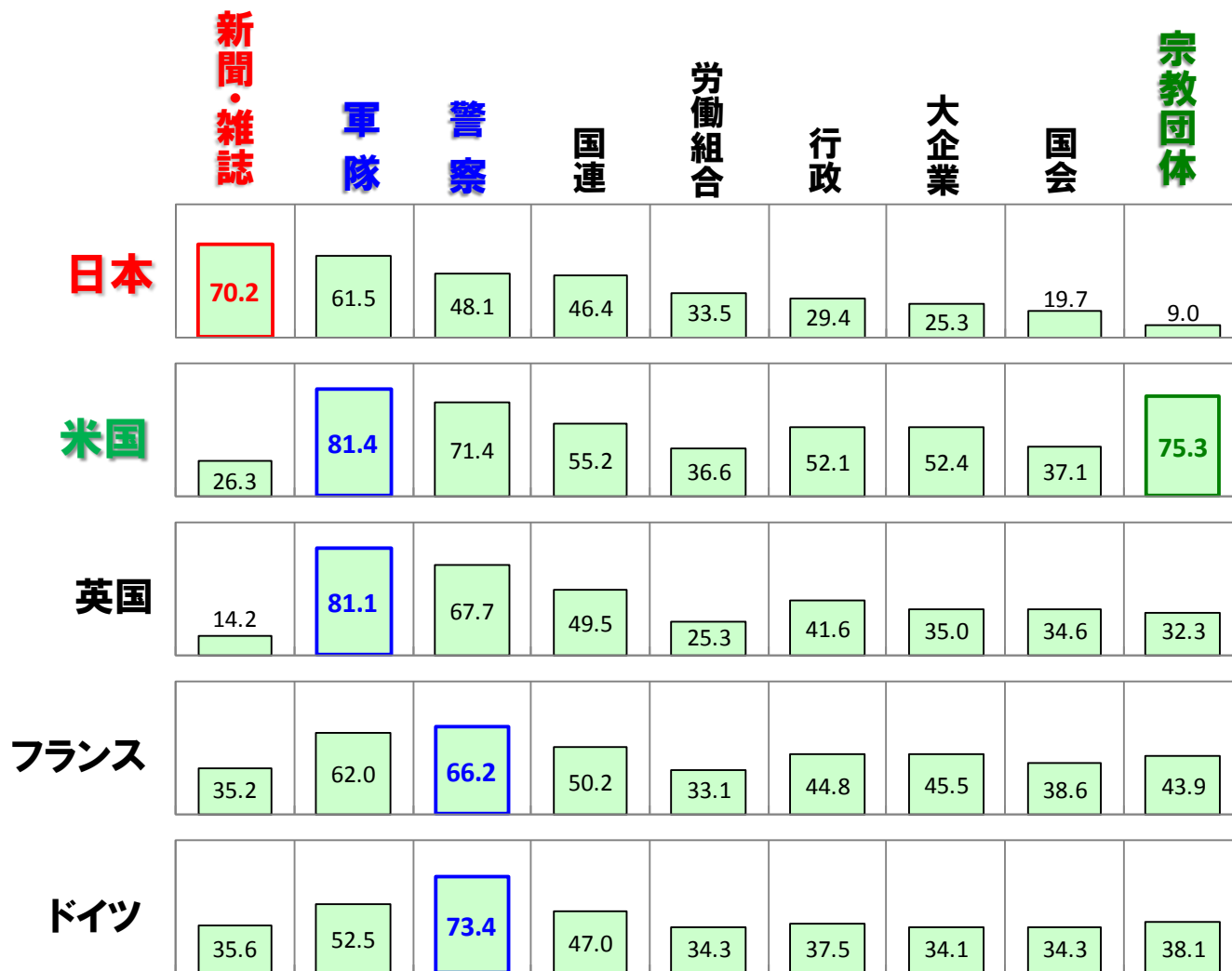


現在の「神の下なる一つの国家(国民)」

- 「国旗に対する忠誠の誓い」に含まれる「one Nation under God」という言葉。
- 「E PLURIBUS UNUM」と書かれたアメリカ合衆国の硬貨の表側にある「IN GOD WE TRUST」というもう一つのモットー。

いずれも第34代アイゼンハワー大統領の時代
- 大統領就任式
 - 聖職者(牧師、神父、ラビ)の祈祷
 - 宣誓(締めくくり)
⇒聖書に手を置き、「**神よ、私をお助けください**」

世界各国における組織・制度への信頼度(2000年)



国	新聞・雑誌
日本	70.2%
米国	26.3%
英国	14.2%
フランス	35.2%
ドイツ	35.6%

(注) 各国の全国18歳以上男女1,000サンプル程度の回収を基本とした意識調査の結果である。数字は各組織・制度に関し「非常に信頼する」と「やや信頼する」の回答率の合計。各組織・制度は日本の信頼度の高い順に並べた。軍隊は日本の場合、自衛隊についてきている。

(資料) 電通総研・日本リサーチセンター編「世界60カ国価値観データブック」

アメリカを形成するユダヤ・キリスト教的価値観

- アメリカ合衆国という国は、**多様性を重んじながら統一を生み出すために、個個人の信教の自由を守りながら国家全体の存在を神に根拠づけてきた。**
- 言い換えれば、「**神の視点**」を持ち出すことによって、多民族的・多文化的・多宗教的な集団からなるアメリカ合衆国という**国家の統合を図ってきた。**
- 憲法起草者たちは政治と宗教を分離したとはいっても、**人間は創造主の前には平等であり、人間を導くのは神の意志である**ということについては一点の疑問も持たなかった。

詳しくは、JICE REPORT 第19号をご覧ください。